

サステナブル トラベルレポート 2024

Booking.com



最新のBooking.com のサステナブルトラベルに関する調査によって 消費者が継続して直面している課題と 業界を超えたコラボレーションの機会拡大が明らかに

開始から9年目を迎え、今年は34の国と地域にわたる31,000名以上の旅行者を対象にした広範な調査から得られたインサイトをまとめたBooking.comのサステナブルトラベルレポートでは、よりサステナブルな旅行に関する旅行者の視点、認識、傾向や潜在的な障壁について、最新の情報を提供しています。



31,000+

名の旅行者



34

の国と地域

今年の調査では
旅行者の要求と
意識が高い水準
で維持されている
ことが明らかに
なる一方で、

旅行者の83%がサステナブルな旅行が重要であると回答したが、よりサステナブルな旅行を選択することにおいて継続して課題を感じていることから、世界的にみて疲弊感が生じている可能性が示唆された。

83%



よりサステナブルな旅行をすることは重要だが、旅行の計画や予約の際に最重要視することではないと回答。



気候変動について耳にすることによってうざりしていると回答。



この傾向を考慮すると、旅行業界がよりサステナブルな方向へ前進するには、業界が一丸となって取り組むべきであり、サステナブルな選択をする機会を提供することがこれまで以上に重要となっている。

サステナブルな 旅行を後押しする ポジティブな意識



世界中の旅行者の**75%**が、今後**12ヶ月間**に
よりサステナブルな旅行をしたいと回答

75%



57%が今後の旅行においてエネルギー消費を
削減する意向

57%



54%が今後、よりサステナブルな交通手段
を利用する意向

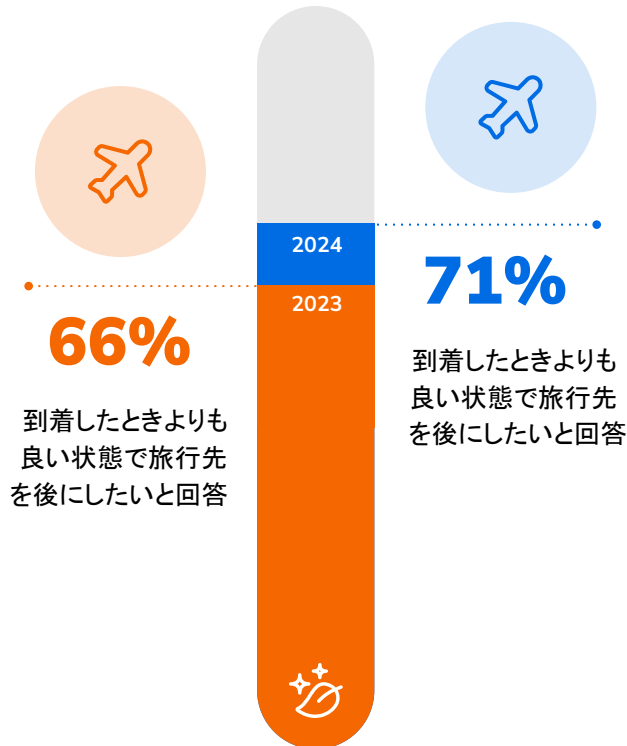
54%



43%がサステナブルでない旅行を選
択することに罪悪感を感じると回答

43%

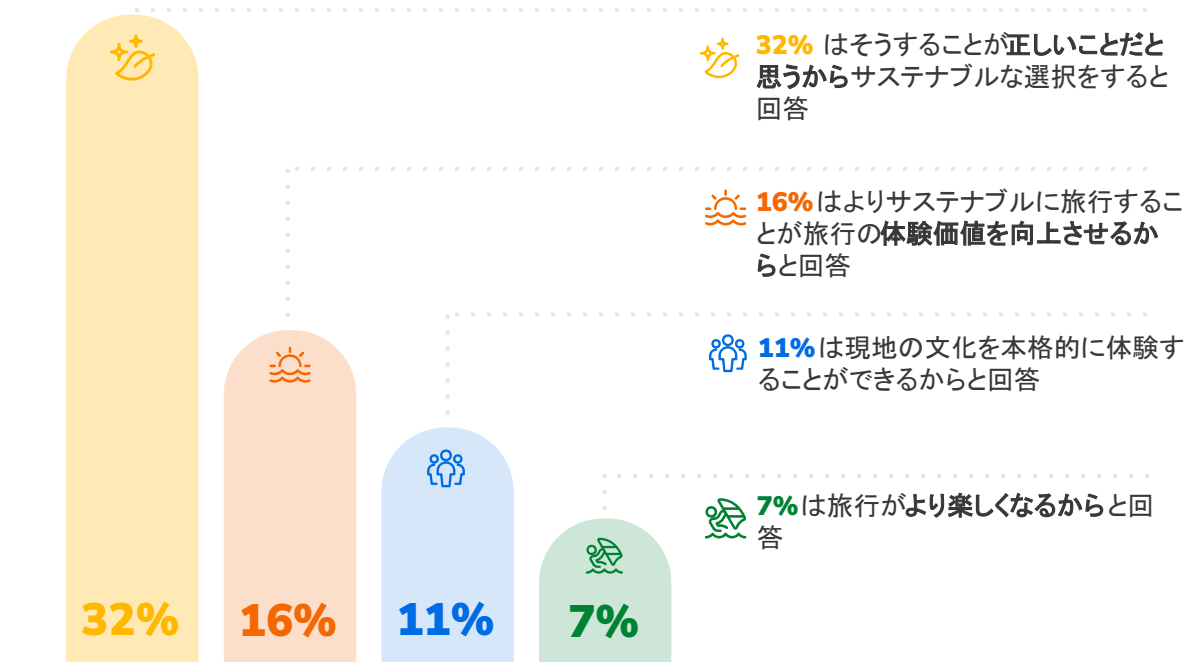
サステナブルな 旅行を後押しする ポジティブな意識



よりサステナブルな旅行を選択する動機



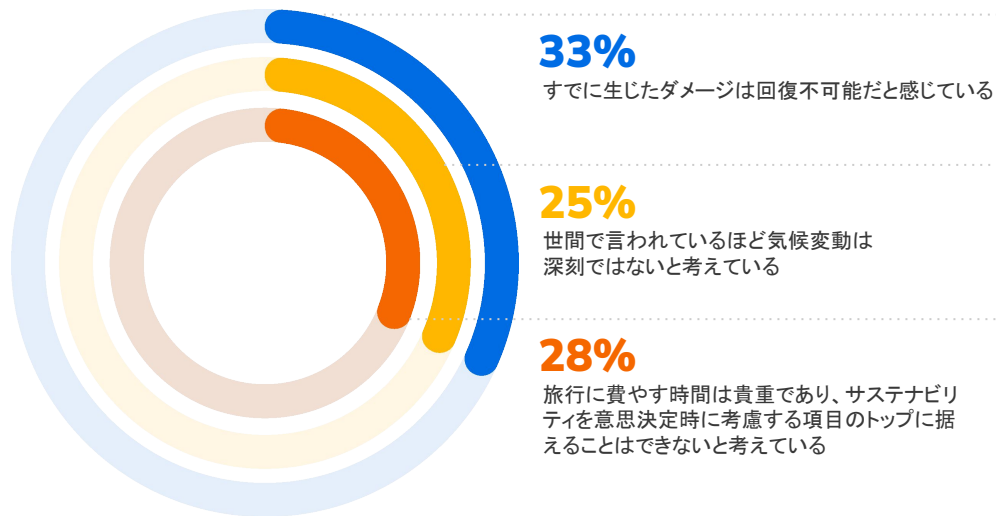
よりサステナブルに旅行したいと回答した人のうち：



ポジティブな動機 に影響を与える 新たな因子が出 現

よりサステナブルな旅行を選択することへの幻滅感が、そうした人々の動機を打ち消している可能性も。

新たな調査分野から、一部の旅行者は自分たちが環境に与える影響についてより配慮することの重要性を認識していないことが明らかに。



サステナブルな取り組みが行われていないと更なる無力感へとつながる：
旅行者の3分の1以上（34％）が、サステナビリティへの取り組み自体が実施されていない旅行先で、よりサステナブルに過ごそうとすることは無意味に感じると回答。

責任の担い手は業界に留まらない

サステナブルな旅行において、旅行者たちが期待しているコラボレーションとは:



45%

旅行が環境に与える影響に対して、自ら働きかけることができると考えている



44%

経済への影響に対処することができる可能性が最も高いのは政府であると考えている



43%

旅行サービス業者が環境要因への対応の力を握っていると考えている



40%

旅行や観光がもたらす影響について人々を啓蒙する責任は政府にあると考えている



認証

旅行者の約半数にとって、よりサステナブルな宿泊施設は魅力的に捉えられている。

45%



すべての旅行予約サイトが共通のサステナブル認証やラベルを使用すべきだという意見に 67%が同意しており、認証基準の一貫性はこうした選択肢を見つける上で非常に重要である。

67%



しかし、なぜその宿泊施設がこの認証を得ることができたのか、その理由を詳しく知りたいと回答した旅行者は去年の時点で**69%**であったのに対し、2024年には**52%**となっている。

これは、各々のプライオリティに関係なく簡単に判断ができるような、シンプルで明確なコミュニケーションが求められていることを示している。

69%



2023

52%



2024

その旅行予約サイトがなぜサステナブルの認証を取得したのか、詳細を知りたいと回答した旅行者

サステナブルな選択をすること によるメリット

旅行者の間で新たな不満を感じる人もいる一方で、より環境に配慮した選択をしているという旅行者は、サステナブルな旅行体験によって旅行の価値が高められていると感じている。

62%

よりサステナブルな旅行
をすることで最高の自分
になれると認識

67%

旅行中にサステナブルな取
り組みを体験することで、日
常生活でも、よりサステナブ
ルな生活を意識しようと思う



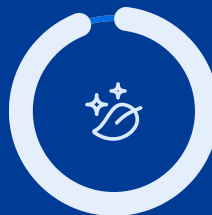
96%

本場の文化を体験するツアー
やアクティビティに出かけた



93%

小規模な個人商店で買い物をした



93%

徒歩、自転車、公共交通機関で
の移動を計画した



多くの旅行者が前向きな気持ちと、よりポジティブな影響を与えたいという願望を持ち続けている一方、業界にとっては、サステナブルな選択を誰もが簡単にできるようにする努力を加速させることが、重要な鍵となっています。よりサステナブルな選択がすぐにできるようにするだけでなく、それが信頼でき、理解しやすいものであり続けることが重要です。だからこそ、さらなる啓蒙活動、明確で一貫性のある基準、そして旅行体験全体における正しいサステナビリティ実践の信頼できる第三者認証が、大いに役立つと私たちは信じています。消費者のフラストレーションを示す兆候は懸念すべきものですが、同時に、旅行者のためだけでなく、世界各地のコミュニティや旅行先にも変化をもたらすことができる、インパクトのある活動に集中して取り組み続けるべきことを改めて実感させるものでもあります。

Booking.com サステナビリティ部門統括責任者
ダニエル・ディシルバ

調査方法

本調査はBooking.comによって、世界 34 の国と地域の 31,550 名の回答者（内訳：アメリカ 1,000 名、カナダ 1,000 名、メキシコ 1,000 名、コロンビア 1,000 名、ブラジル 1,000 名、アルゼンチン 1,000 名、オーストラリア 1,000 名、ニュージーランド 500 名、スペイン 1,000 名、イタリア 1,000 名、フランス 1,000 名、スイス 500 名、イギリス 1,000 名、アイルランド 1,000 名、ドイツ 1,000 名、オランダ 1,000 名、ベルギー 1,000 名、デンマーク 1,000 名、スウェーデン 1,000 名、クロアチア 950 名、UAE 500 名、インド 1,000 名、中国 1,000 名、香港 800 名、タイ 1,000 名、シンガポール 1,000 名、台湾 1,000 名、ベトナム 1,000 名、インドネシア 1,000 名、フィリピン 1,000 名、韓国 1,000 名、日本 1,000 名、南アフリカ 1,000 名、ケニア 300 名）を対象に独自に行われたものです。

調査に参加した回答者の条件は、次の通りです。18 歳以上であること、直近 12 ヶ月に 1 回以上旅行をしたこと、2024 年に旅行を計画していること、旅行に関する意思決定を行う立場にあるか、または意思決定に関与していること。本調査は 2024 年 2 月、オンラインで実施されました。



Thank you

Presenter Name Surname
name.surname@booking.com

Booking.com